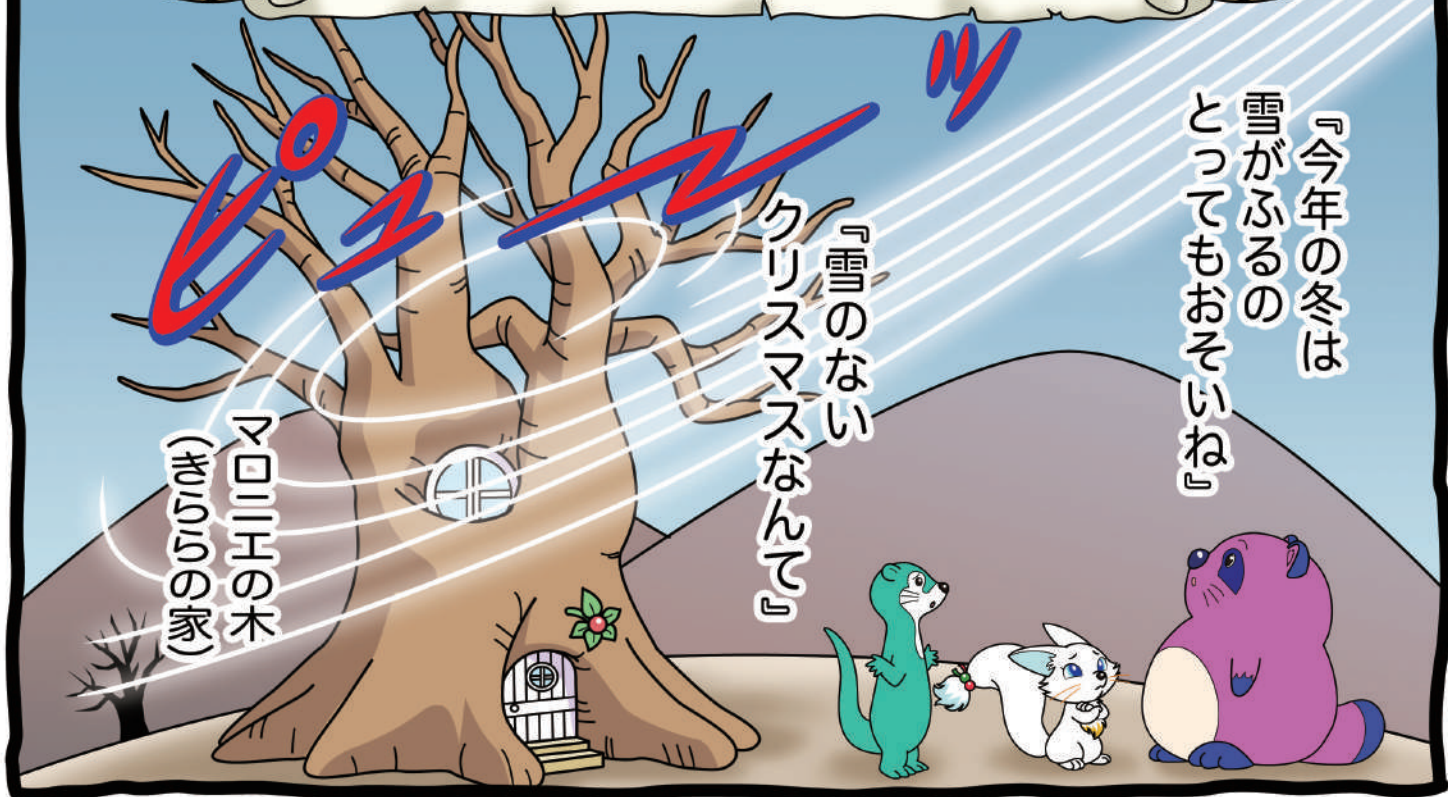


クリスマスがやってきた



『今年の冬は  
雪がふるの  
とってもおそいね』

『雪のない  
クリスマスなんて』

マロニエの木  
(まろにえの家)

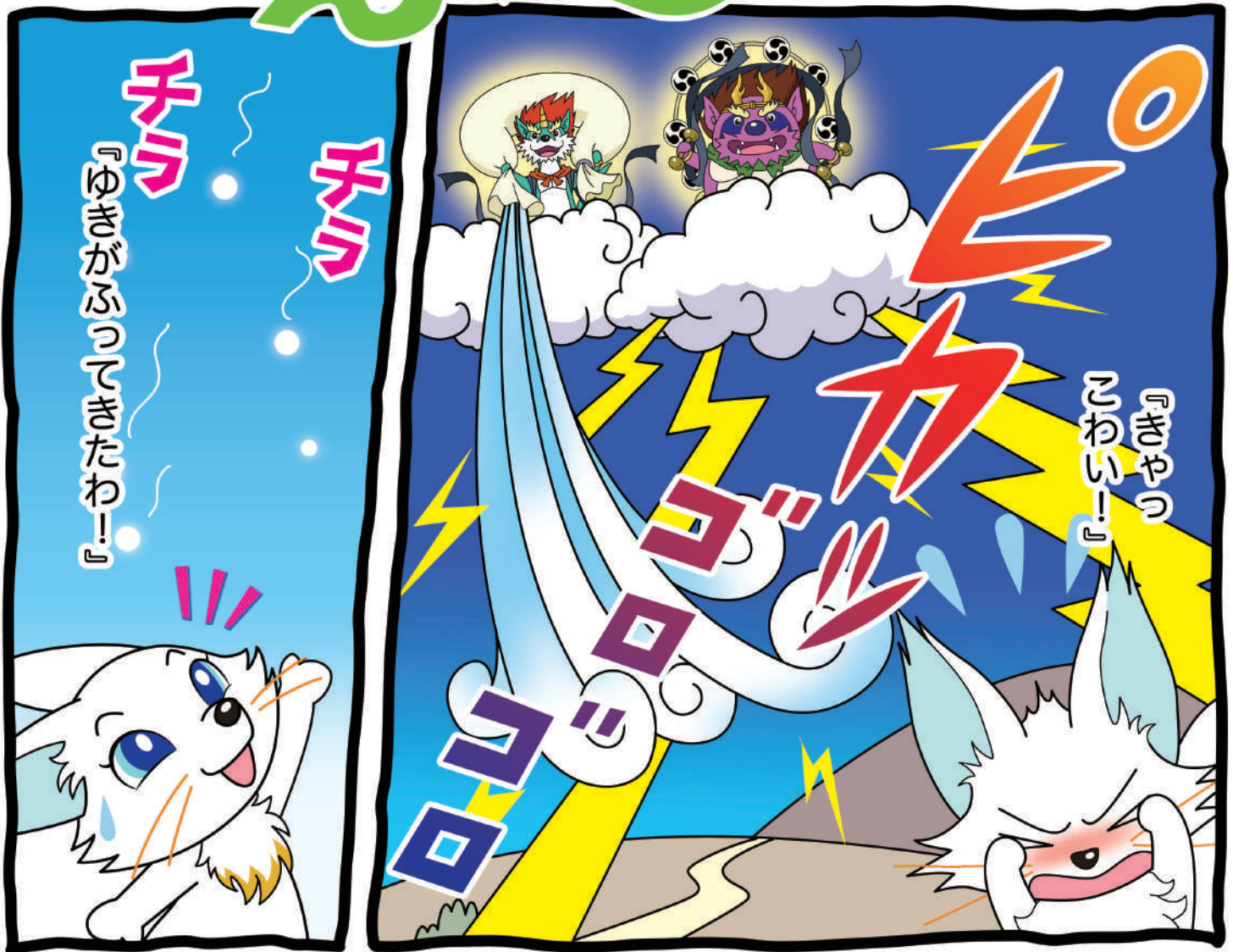


『よし  
ゆきおこしを  
しようー！』



『サンタさん  
きてくれないかもしれぬね』

『えっ  
それはみんな  
こまるよ』





『わあ！  
きれい！』

ザクッ



『たすけてー！』



『わっ！』



『なによ？  
この雪！  
あぶないじゃ  
ないの！』

『ご、ごめん  
きららに  
きれいな結晶を  
みせてあげたくて』



『じゃあこんどは  
いろいろな  
ぼたんゆきを  
ふらすよ！』

『ぼたんゆき』  
雪の結晶が  
多数付着し合い  
大きな雪片となつて  
降る雪。

『きれい！』

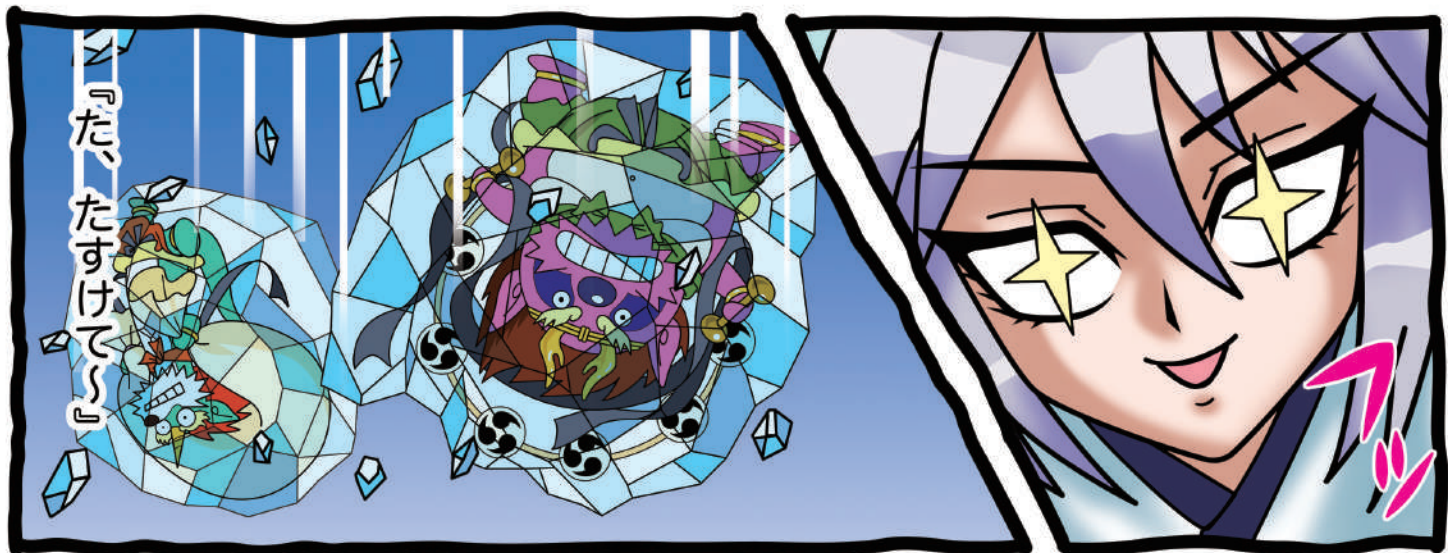
『わお』

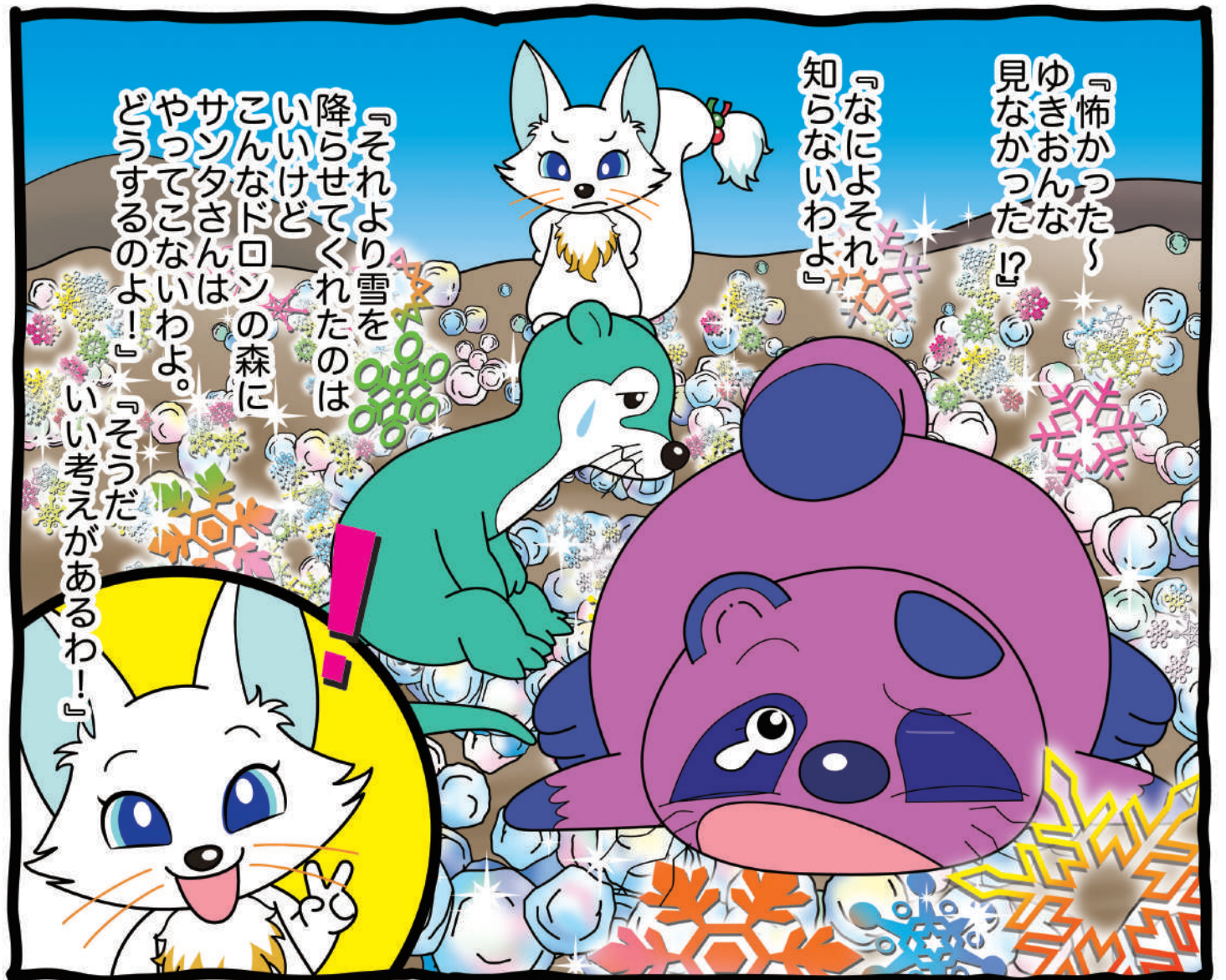
『ついでに  
丸い雪つくっちゃえ!』

『あつ  
危ない!  
これ、  
ひようじゃない!』

『ひよう』  
直径5ミリ以上の  
氷の粒のこと』







「怖かったよ  
ゆきおんな  
見なかった!」

「なによそれ  
知らないわよ」

「それより雪を  
降らせてくれたのは  
いいけど  
こんなドロンの森に  
サンタさんは  
やってこないわよ。  
どうするのよ!」

「そうだ  
いい考えがあるわ!」



『ポポタンとうそつちの  
いたずらな雪のおかげで  
きららのマロニエの木の家が  
きれいなクリスマスツリーに  
なりました』

『ぼくたちの  
おかげだよ』

『あら  
ほんとうのゆきが  
ふってきたわ』



『その夜  
みんなが寝静まり  
雪がコンコンと降るなか  
サンタさんが  
ドローンの森にじずかに  
おりてゆきました』